

Greater Tokyo Biocommunity 発足記念セミナー

2022.5.31

GTB協議会 会長

永山 治

日本のバイオ戦略とは？

2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現
地球規模の社会課題解決に資するイノベーション創出で世界をリード

イノベーションの継続創出による
産業活性化

世界的な社会課題の解決

✓ 気候変動、食料危機、エネルギー、
海洋汚染、・・・

重点施策

1. バイオ関連市場の拡大

✓ 2030年時点で92兆円の市場規模

2. バイオコミュニティの形成

3. データ基盤の整備

✓ デジタル庁等の政府全体の共通の取組みを前提に、異分野を含む幅広く、柔軟なデータ連携を可能とする環境を構築

バイオ製造

高機能バイオ素材、バイオプラスチック、
バイオ生産システム等
【53.3兆円】← 32.5兆円（2018年）

健康・医療

生活習慣改善ヘルスケア、機能性食品等
【33.0兆円※1】← 25兆円（2016年）※2
バイオ医薬品・再生医療等関連産業
【3.3兆円】← 1.5兆円（2020年）

一次生産等

持続的・一次生産システム
【1.7兆円】← 0.3兆円（2018年）
木材活用大型建築、スマート林業
【1.0兆円】← 0.5兆円（2018年）

バイオ製造(White)

- ・ 再生可能なバイオ燃料
- ・ 生分解性プラスチック

健康・医療 (Red)

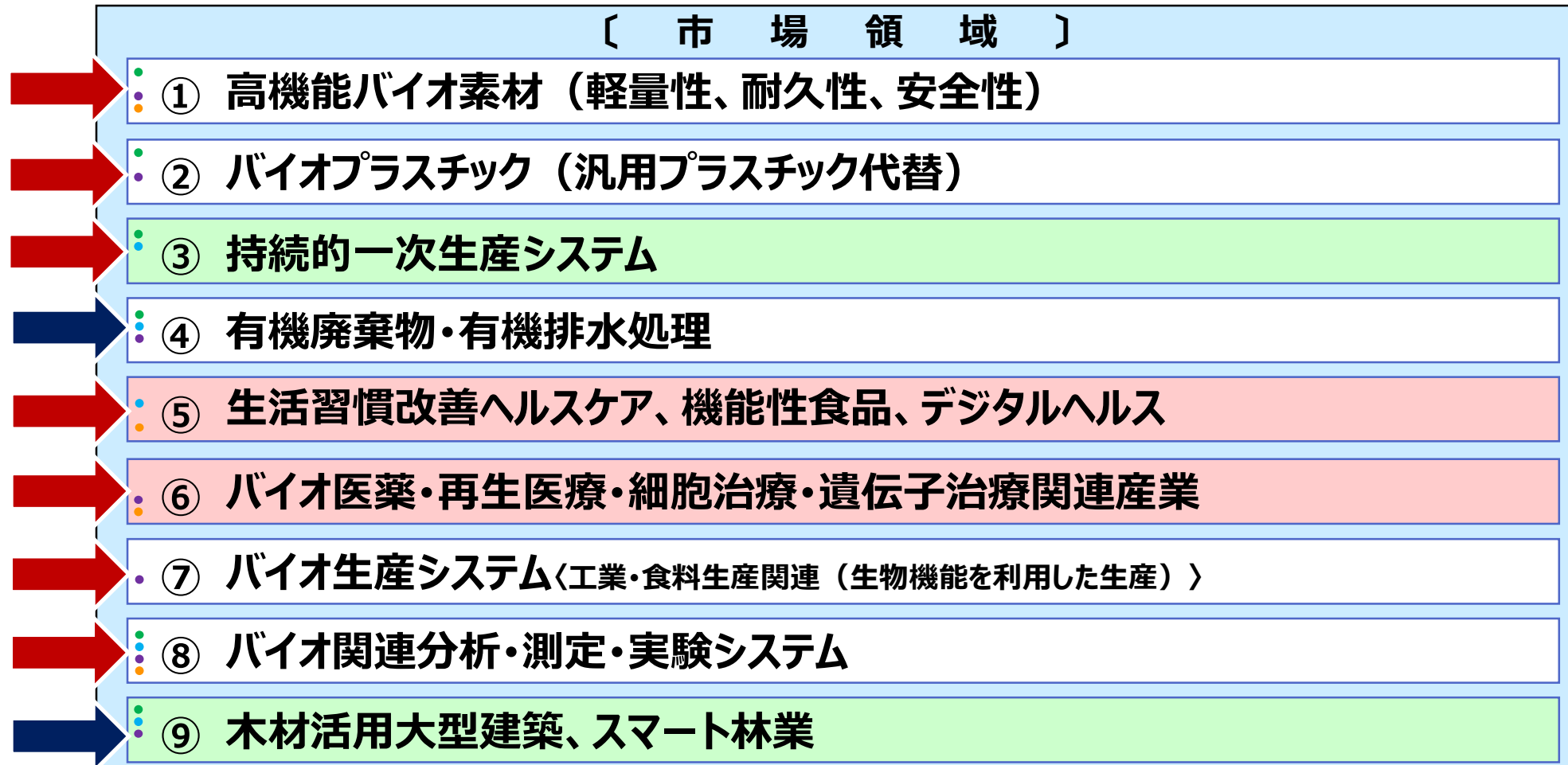
- ・ 革新的医薬品等(抗体、再生・遺伝子治療、ワクチン)創製

一次生産(食品・農業・林業) (Green)

- ・ 環境変動・害虫等に強い品種、高機能性食品等の開発(遺伝子組み換え等)

バイオ戦略が対象とする市場領域

赤矢印はGTBが主体的に取り組む領域、
青矢印は他の地域との協働により取り組む領域



バイオコミュニティ

- グローバルバイオコミュニティを中核にして地域拠点と有機的なネットワークを形成
- 全国で特色のあるバイオ産業を活性化させ、グローバルのクラスターとも繋がる中で国内外からの優秀な人材・投資の集積を促進させる

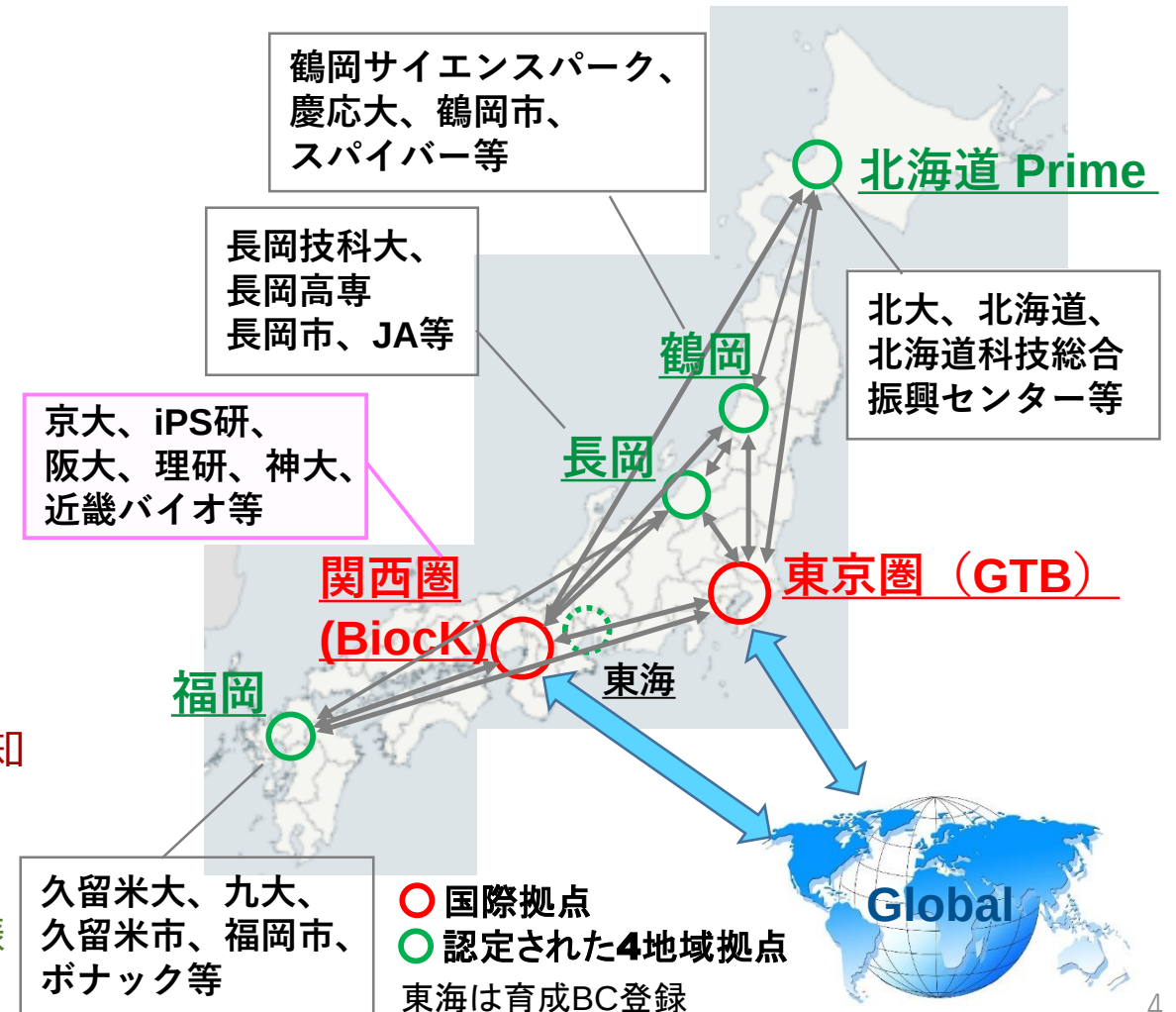


グローバル・バイオコミュニティ

- 世界最高レベルの研究環境、事業化支援体制を確立
- 世界と伍する規模や広がりを持ち、国際バイオイノベーションハブとして認知
- 研究開発から事業化までに多様な主体が関わるバリューチェーンを構築

地域バイオコミュニティ

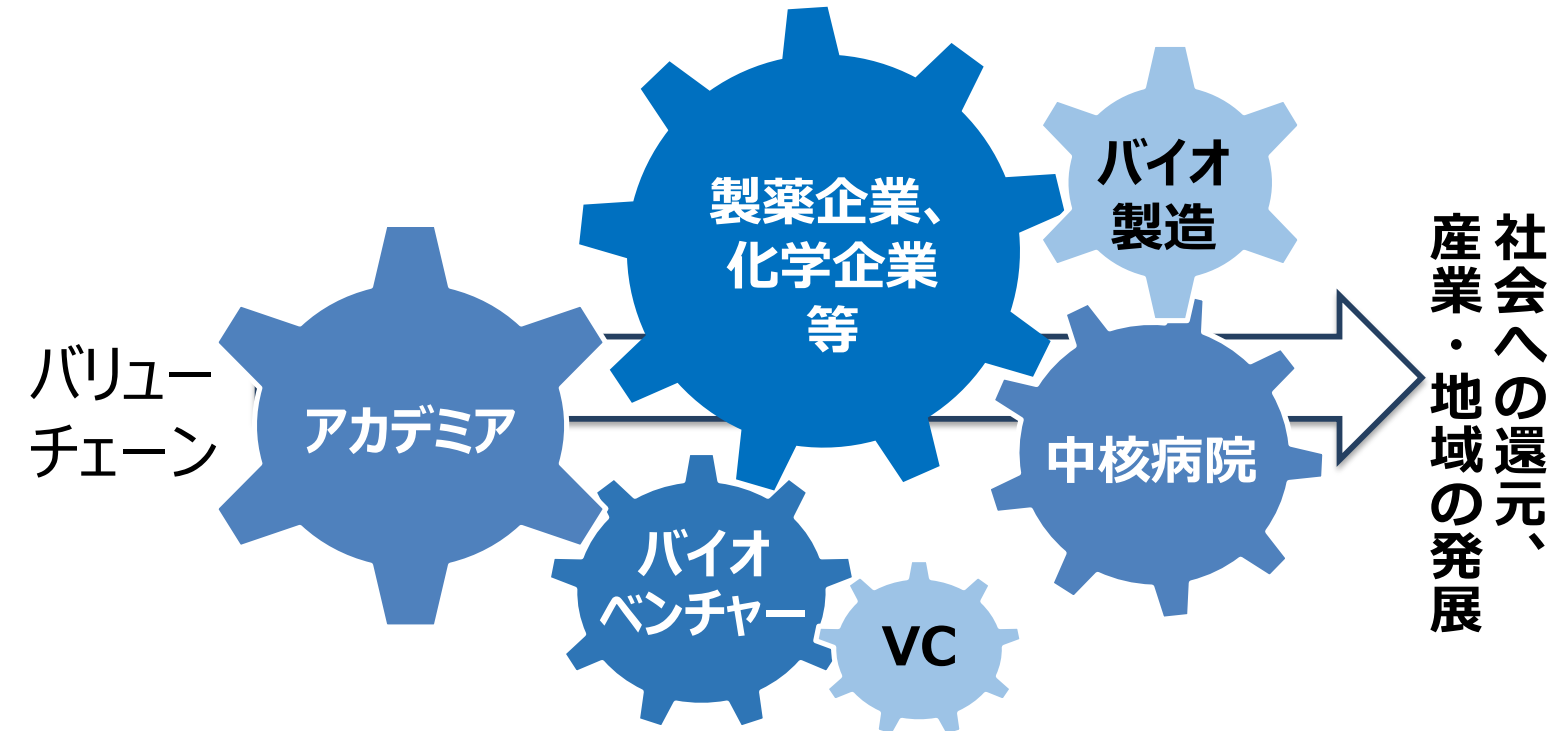
- 世界と伍する強みを有し、地域の特色を活かした取組みを展開する多様な個性豊かなコミュニティ



GTBの目標と手法

目標

東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターにすることにより「2030 年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献する



手法

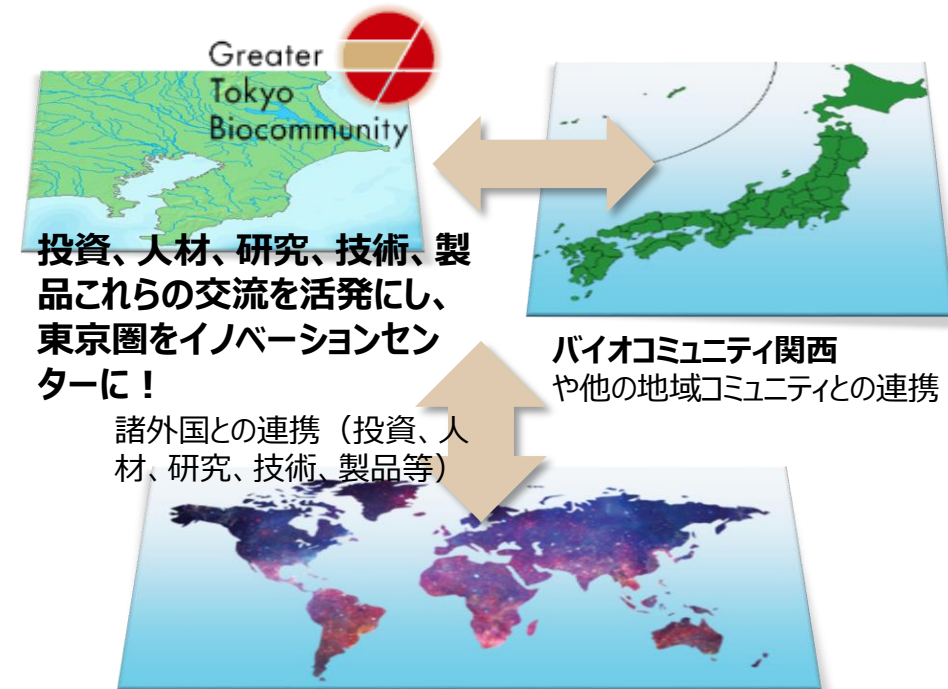
共同研究
形成促進

ベンチャー
育成促進

生産設備
投資促進

基盤の強化（ネットワーク、人材、バイオイノベーション推進拠点整備等）

国際認知度向上、海外からの投資拡大



5.川崎エリア

羽田空港直結のキングスカイフロントなど、研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション都市



6.横浜エリア

産学官金が連携し、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するグローバル拠点都市



7.湘南エリア

世界最大級のライフサイエンス研究施設を核に、隣接病院や周辺地域とも連携する、製薬企業発の産官学医オープンイノベーション拠点



GTBバイオイノベーション推進拠点

3.本郷・お茶の水・東京駅エリア

東大、東京医歯大等、GTB域最大のアカデミア集積地

TIP開設プレスリリースより



4.日本橋エリア

バイオ・製薬産業が集まる国際的ライフサイエンスビジネス拠点と、研究・臨床・情報開発連携機能の集積



1.つくばエリア

筑波大学および多様な国研および企業研究機関等の集積をいかした我が国最大の世界的サイエンスシティ

筑波研究学園都市パンフレットより



2.柏の葉エリア

新産業創造、健康長寿、環境共生を軸とする国際イノベーションキャンパスタウン



柏の葉スマートシティ HPより

8.千葉・かずさエリア

最先端ゲノム研究等による植物・免疫医療等研究推進拠点



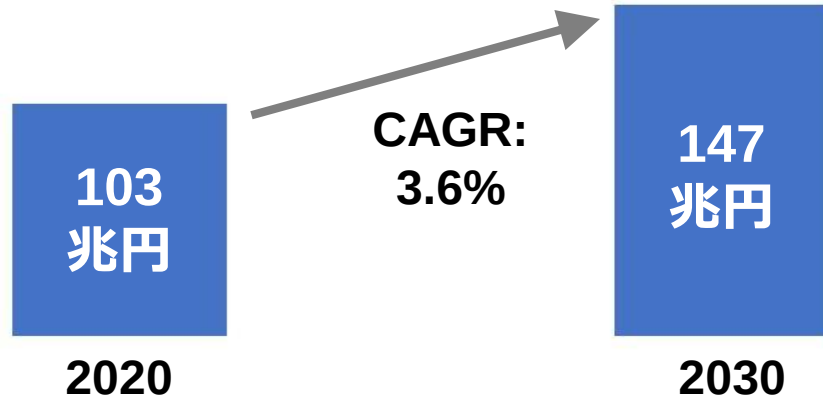
千葉大学

かずさDNA研究所



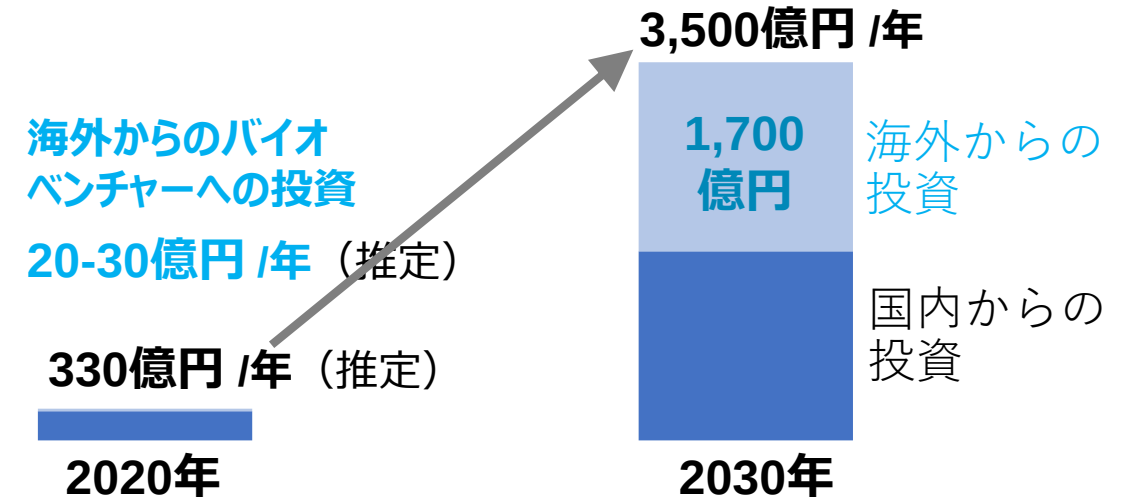
GTB成長の指標

Main KPI: 市場拡大



市場：バイオ関連 5 団体¹⁾ の加盟企業（上場および非上場）の売上高合計

サブ KPI (1): バイオベンチャーへの投資

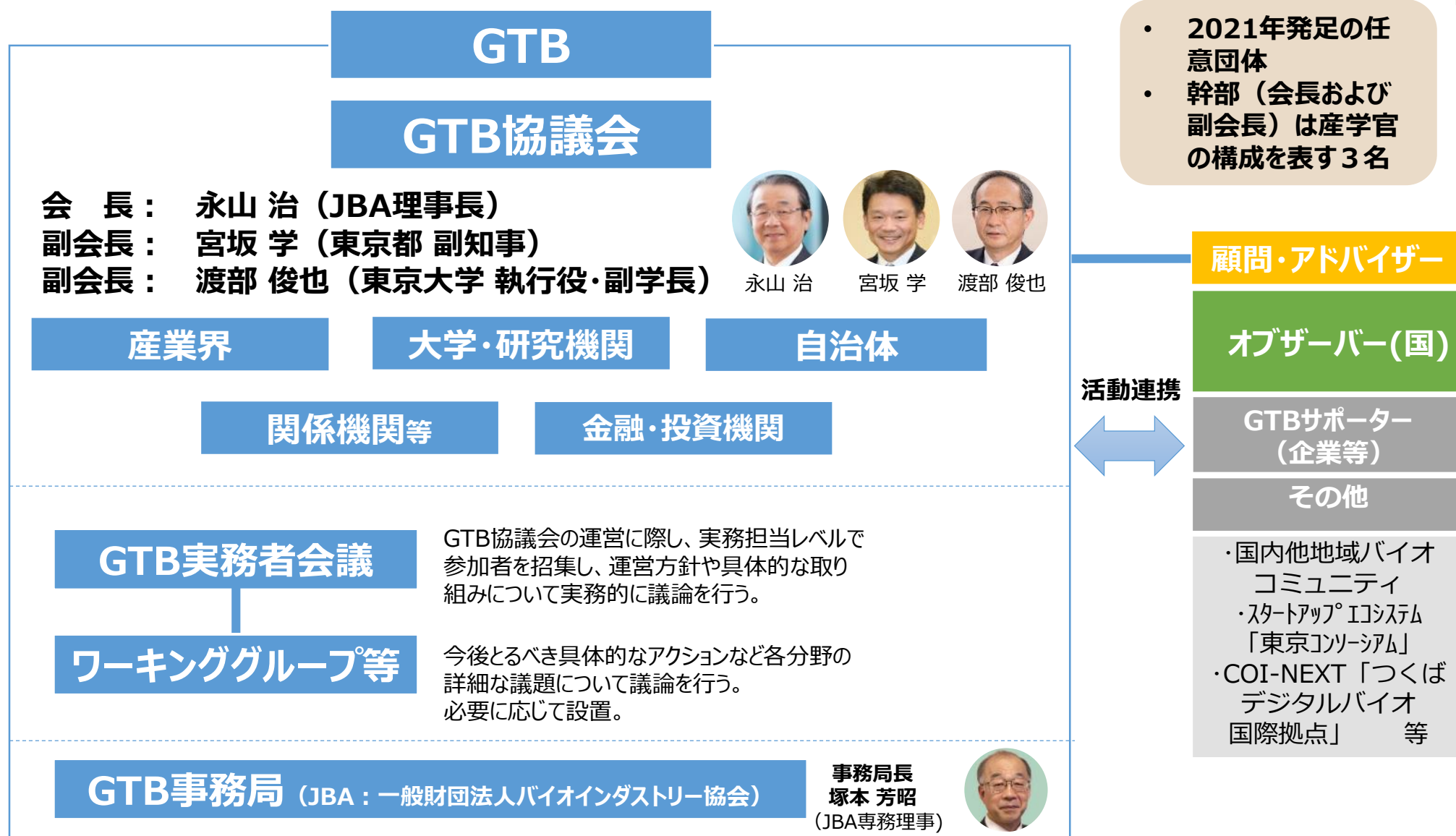


サブ KPI (2)

- ✓ 新規大型共同研究の形成件数: 年 5 ～ 10 件（2030 年）
- ✓ スタートアップエコシステムランキング（ライフサイエンス分野）
25 位（2021 年） → **5 位以内（2030 年）**

1): バイオインダストリー協会, 再生医療イノベーションフォーラム, 日本製薬工業協会, 農林水産・食品産業技術振興協会, 日本バイオテック協議会
売上高: 各社の直近の通期決算情報に基づく（2022 年 1 月末時点）

GTB組織体系



GTB 協議会 委員

※2022/5/12時点

会長： 永山 治（JBA理事長）



自治体： 副知事、副市長クラス

副会長： 1. 宮坂 学（東京都 副知事）

2. 首藤 健治（神奈川県 副知事）
3. 滝川 伸輔（千葉県 副知事）
4. 高柳 三郎（埼玉県 副知事）
5. 前田 了（茨城県 産業戦略部長）
6. 大久保 智子（横浜市 副市長）
7. 加藤 順一（川崎市 副市長）
8. 松本 玲子（つくば市 副市長）

大学・研究所： 副学長、理事クラス

副会長： 9. 渡部 俊也（東京大学 執行役・副学長 未来ビジョン研究センター 教授（副センター長））

10. 三原 久和（東京工業大学 副学長(戦略構想担当)）
11. 金保 安則（筑波大学 副学長(産学連携)）
12. 天谷 雅行（慶應義塾大学 常任理事(研究(主管)、他)）
13. 笠原 博徳（早稲田大学 副総長(研究推進)）
14. 樋上 賀一（東京理科大学 理事）
15. 東條 有伸（東京医科歯科大学 理事・副学長(連携・データサイエンス・教員人事担当)）
16. 石川 義弘（横浜市立大学 学長補佐、研究・産学連携推進センター長）
17. 藤江 幸一（千葉大学 理事(研究担当)）
18. 小安 重夫（理化学研究所 理事）
19. 田村 具博（産業技術総合研究所 生命工学領域長）
20. 木井 保夫（製品評価技術基盤機構 理事）
21. 門脇 光一（農業・食品産業技術総合研究機構 理事(研究推進担当 II)）
22. 間野 博行（国立がん研究センター理事(研究・国際・がん対策担当)、国立がん研究センター研究所長）
23. 田畑 哲之（かずさDNA研究所 副理事長兼所長）

バイオ関係団体： 会長・理事長クラス

24. 永山 治（バイオインダストリー協会 理事長）
25. 荒蒔 康一郎（日本バイオ産業人会議 世話人代表）
26. 浅島 誠（つくばライフサイエンス推進協議会 会長）
27. 岡野 栄之（LINK-J 理事長）
28. 三浦 淳（川崎市産業振興財団 理事長）
29. 大野 泰雄（木原記念横浜生命科学振興財団 理事長）
30. 藤本 利夫（湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネジャー）
31. 大石 道夫（千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 会長）
32. 岡田 安史（日本製薬工業協会 会長）
33. 畠 賢一郎（再生医療イノベーションフォーラム 会長）
34. 山田 英（日本バイオテック協議会 会長）
35. 荒蒔 康一郎（農林水産・食品産業技術振興協会 会長）
36. 澤田 拓子（バイオコミュニティ関西 委員長）

産業支援機関： 理事クラス

37. 城 克文（日本医療研究開発機構(AMED) 理事）
38. 西村 知泰（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 理事）
39. 森本 茂雄（科学技術振興機構(JST) 理事）
40. 松浦 哲哉（中小企業基盤整備機構 理事）
41. 青山 繁俊（日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事）

金融・投資機関： 取締役・執行役員クラス

42. 石島 繁裕（日本政策投資銀行 企業金融第6部 課長兼ヘルスケア室長）
43. 丹下 智広（JICベンチャー・グロース・インベストメンツ 取締役CIO）

オブザーバー 中央省庁： 課長クラス

- I. 宇井 伸一（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官）
- II. 吉屋 拓之（内閣府 健康・医療戦略推進事務局 参事官）
- III. 武田 憲昌（文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課長）
- IV. 安藤 公一（厚生労働省 医政局 経済課長）
- V. 郡 健次（農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課長）
- VI. 佐伯 耕三（経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課長）
- VII. 加藤 聖（環境省 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 室長）

全43名

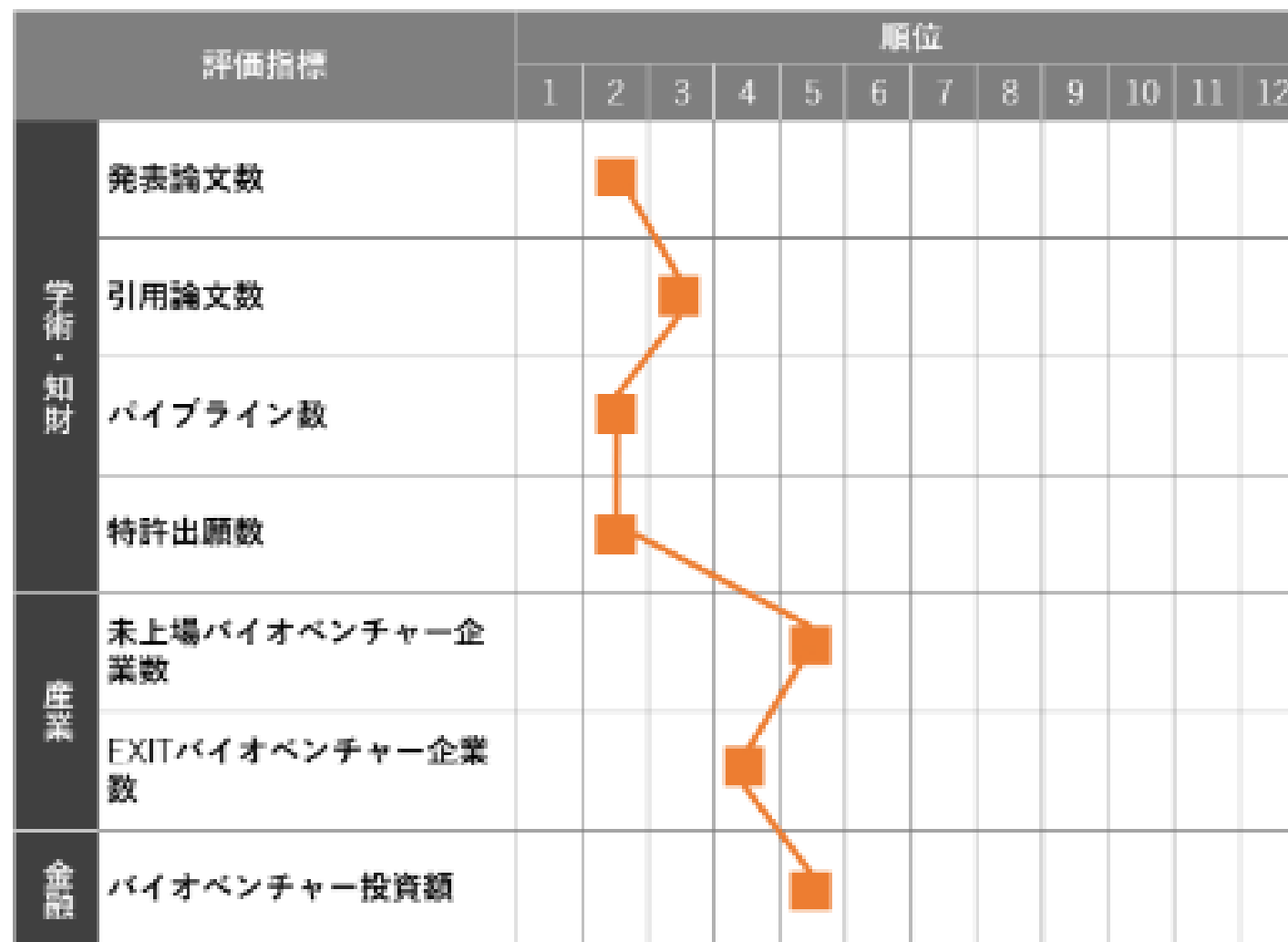
オブザーバー参加機関

- ・（公財）東京都医学総合研究所
- ・（国研）海洋研究開発機構
- ・（公財）がん研究会
- ・ Tokyo Marunouchi Innovation Platform（大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
- ・ 横浜国立大学

東京圏の強みと課題

● 世界を代表する12都市圏の比較

学術・知財分野では競争力があるが、ベンチャー関連の指標に弱みがある



12都市圏の比較：

- ・ 東京圏
- ・ 関西圏
- ・ ボストン
- ・ ロンドン
- ・ パリ
- ・ スtockホルム
- ・ ミュンヘン
- ・ シンガポール
- ・ サンディエゴ
- ・ コペンハーゲン
- ・ バーゼル
- ・ テルアビブ

(経済産業省調べ、2022年)

東京圏の強みと課題 (2/2)

- (一般の) 産業的基盤の比較

GTBにおける既存産業の集積は極めて高く、バイオ戦略の重点9分野をすべてカバーしている

主要都市の産業規模比較

	GTB	Massachu setts	Greater London
人口 (2018年, 百万人)	39.78 (2020)	4.44	12.43
GDP (2018年, 十億ドル)	1,828	541	686
バイオ産業雇用者数 (R & D雇用者数)	347,000+	79,972 (46,000)	193,000

多様な産業分野における大企業の集積は強みになり得る

GTBの活動共有ツール

note

https://note.com/gtb_com

GTBの公式HPです。事務局からの発信や東京圏産業ポテンシャルのデータ掲載等に使います。



Twitter

<https://twitter.com/TokyoGreater>

GTBの活動周知ツールです。GTB参画機関のイベント等の情報も流しています。是非フォローお願いします。



キーワードや作者名で検索



Greater Tokyo Biocommunity (GTB)



設定

東京圏におけるバイオ産業の産学官ネットワークです。産業エコシステムを強化し、国のバイオ戦略2020に掲げられた目標「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献します。一般財団法人バイオインダストリー協会が事務局を務めています。

2 フォロー 14 フォロワー



プロフィールを編集

Greater Tokyo Biocommunity (GTB)

@TokyoGreater

東京圏におけるバイオ産業の産学官ネットワークです。バイオインダストリー協会が事務局を務めています。

GTB is an industry-academia-government network for the biotechnology industry in greater Tokyo area.

📍 Tokyo 🌐 note.com/gtb_com/ 📅 2021年6月からTwitterを利用しています

38 フォロー中 108 フォロワー